

【事業概要】

○六日町バイパスは、国道17号の「市街地部の交通混雑緩和と死傷事故の削減」「道路ネットワーク整備による地域活性化」「救急医療体制の支援」などを目的とし、国道17号の新潟県南魚沼市竹俣から南魚沼市庄之又に至る延長5.1kmのバイパス整備事業です。

区 間： (起)新潟県南魚沼市竹俣 (終)新潟県南魚沼市庄之又

延 長： 5.1km (今回開通区間 0.8km)

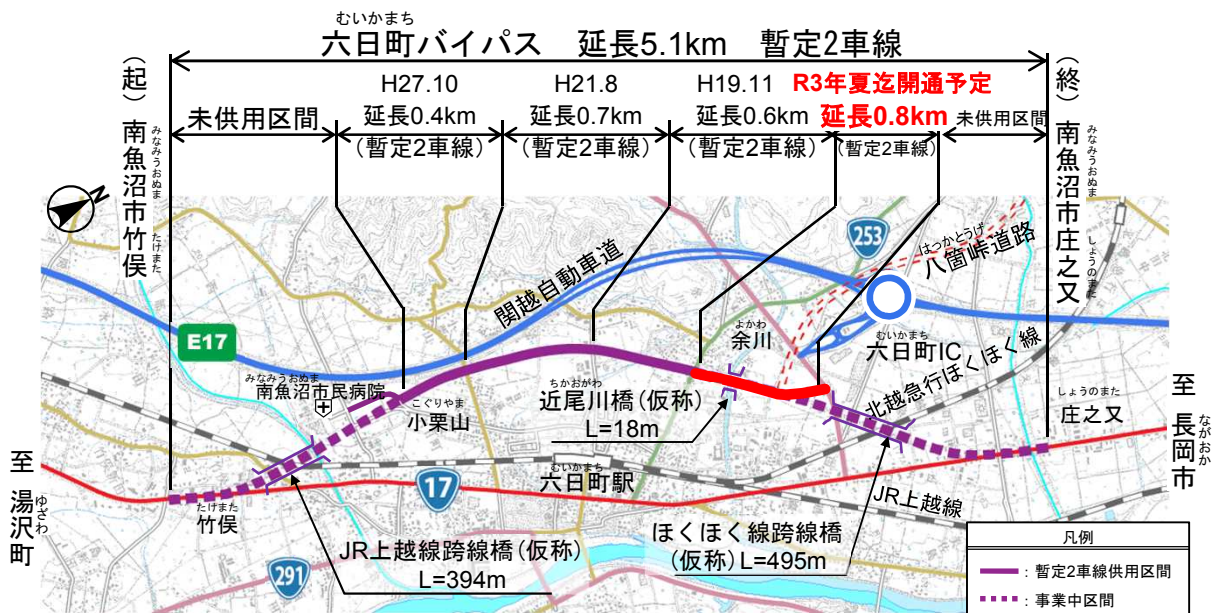
事業経緯： H 6年度 事業化

H12年度 工事着手

H19年度 南魚沼市余川地先 暫定2車線供用 (延長0.6km)

H21年度 南魚沼市小栗山地先 暫定2車線供用 (延長0.7km)

H27年度 南魚沼市小栗山地先 暫定2車線供用 (延長0.4km)



【整備効果】

- ①「魚沼基幹病院 (三次救急医療)」「南魚沼市民病院」と六日町ICのアクセス性が向上し、安全安心な地域づくりに貢献します。
- ②洪水時に浸水の影響を受けない高盛土構造であり、浸水時の避難路として機能します。
- ③雪を堆雪する十分な路肩が確保されることで、冬期間における円滑な交通確保が期待され、安全性・信頼性が向上します。

国道17号 六日町バイパス(余川地区)開通による主な効果

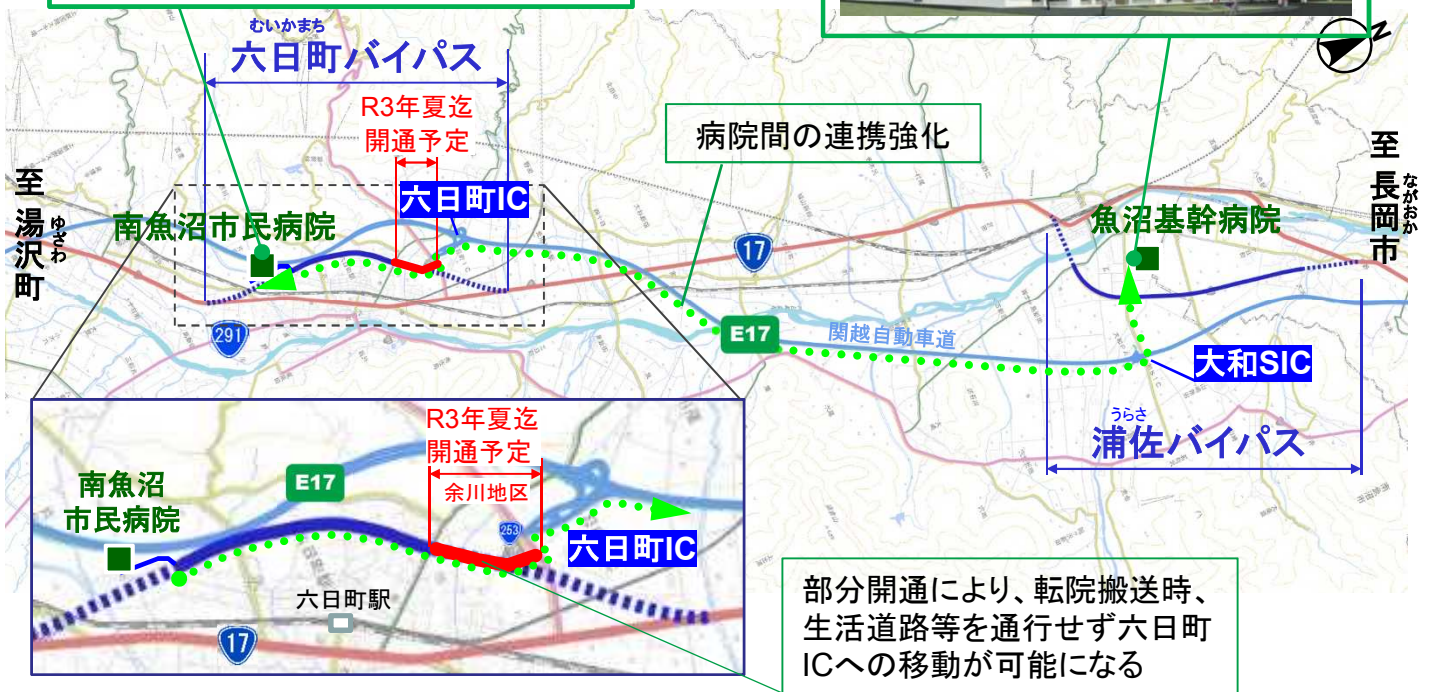
南魚沼地域の救急医療活動を支援

- ▶平成27年6月に三次救急医療を担う「魚沼基幹病院」、平成27年11月に「南魚沼市民病院」が開院。
- ▶余川区間開通で六日町ICへのアクセスが向上し、南魚沼市民病院から魚沼基幹病院への重症患者の転院搬送等が容易になり、安全安心な地域づくりに貢献。

南魚沼市民病院 H27.11開院



魚沼基幹病院 H27.6開院



〇H27年度の部分開通後には以下のコメントがあり、開通への効果が期待される

【医療関係者の声】



・魚沼基幹病院や他の病院への、重症患者等の転院数は一カ月あたり4～5件ある。

※南魚沼市民病院へのヒアリング結果
(調査日：R2年2月)

【消防関係者の声】



・南魚沼市民病院から魚沼基幹病院に転院する際に利用している。
・バイパス区間は交差点や道路の凸凹が少なく応急処置がしやすい。
・現在は、現道との接続が悪いため、早急に国道253号まで供用してほしい。

※南魚沼消防本部へのヒアリング結果(調査日：H28年8月)